

## ▲▲▲ 雨乞岳(2,037m) ▲▲▲

(報告) M. K.

◎山行期日：2021年11月13日(土)

◎メンバー：T.F. (L)、M.K.



しばらく山から遠のいていたが、山梨県の軽めの山をリクエストしたところ「雨乞岳にしましょう！」と返事をいただいた。すぐに情報を調べたら、上りコースタイム3:10。うーん、もう少し軽くてもいいかも…と思ったが、2週間前にも登られた報告には、「甲斐駒、鳳凰三山、富士山のそろい踏みが見事」とあり、ワクワクしてきた。

小淵沢インターから6~7分の、道の駅信州葛木宿で待ち合わせ。お会いするのは何年か振りだったが、すぐ見つけてもらえた。Fさんの車で登山口へ向かう。雨乞岳への登山道(登山口)は2ヶ所あり、石尊神社口とヴィレッジ白州(平久保登山口)。それぞれの登山口は林道でつながっており、車で8分くらいの距離だったかな?車2台で来て周回することも出来る。トレイルランナーさんはどちらかの登山口からでも余裕で周回出来る(とネットに書いてあった)。石尊神社口からの上りのコースタイムは4:00、ヴィレッジ白州からは3:10。今回は当然ヴィレッジ白州からのコースで登る。

道の駅から登山口までは車で約20分、今回は石尊神社経由で向かったので+5分くらい。石尊神社口には2台、ヴィレッジ白州・平久保口には2台と、同時に到着した多摩ナンバーの男性(1人)と私たちのみ、ネット情報にもあったが、穴場的な(マイナーな?)山らしい。

風もなく快晴、思った程の寒さではなかったが、手袋とあったか帽子を被って出発。登山道は整備されていてとても歩きやすい。でも、やはり久しぶりの山歩き、すぐに呼吸のリズムが狂う。Fさんは歩幅を小さく、リズムよく歩を進める。真似して歩いてみるがすぐに歩幅が大きくなってしまう。

休憩を入れながら、焦らずゆっくり登る。頂上まではまだ距離があるが、「甲斐駒・鳳凰三山・富士山のそろい踏み」のポイントに着いた。

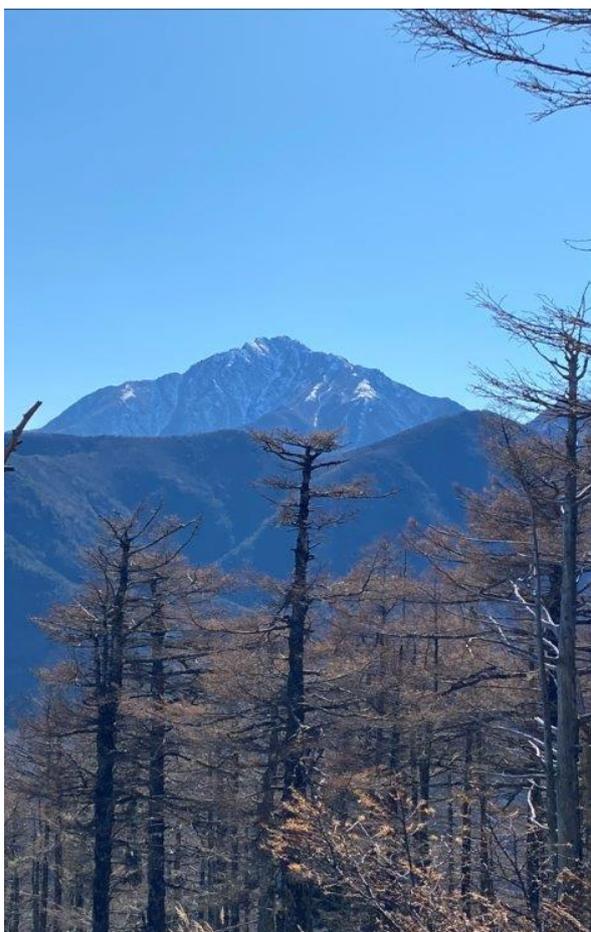
Fさんよると、このように見事に見えるポイントは、他にはなかったとのこと。山歩きの経験の少ない私には、この展望がどれだけ凄いのか正直わからないところではあったが、ただ素直に「美しい!!」と感じた。



(見事な三役そろい踏み 富士山、鳳凰三山、甲斐駒ヶ岳)

Fさんが以前、甲斐駒・黒戸尾根をピストンした時に出会った方が、次の日は雨乞岳に登ると言っていて、不思議に思ったことがあったそうで、でもこの山に登って甲斐駒を眺めて、その理由がわかった、という話をしてくれた。

歩くペースを合わせてもらい、コースタイムを少しオーバーし頂上に着いた。頂上からの三山のそろい踏みも素晴らしく、更に甲斐駒の迫力も素晴らしかった。Fさんが「イケメン」と表現されたがその通りだ。写真はFさんに任せようと安心していましたが、カメラを忘れてしまったと。一気にプレッシャーがかかって、とりあえずパシャパシャ撮ったが、山に登っても写真はほとんど撮ったこともなく、流行のインスタだの映え？などというものには一切興味がない。シリアスメンバーには写真がとても上手な方もおられるとのこと、是非撮ってもらいたいな～。



(「イケメン」の甲斐駒ヶ岳)



(雨乞岳の山頂)

頂上はそれ程広くはないが、到着した時は誰もいなかった。登山口で一緒になった多摩ナンバーの男性は水晶ナギまで行っているのかな。と思っていると、石尊神社口から登ってきた方々が「キツィ～！！」と叫びながらピョコッと突然現れた。どうも最後が急坂らしく、Fさんも前回水晶ナギまで行こうとしたが、この急坂を見てやめたとのこと。ピョコッと現れた男性2人組は、車2台で石尊神社口から登ってヴィレッジ白州へ下る周回コース。もう1組も突然現れたが、頂上は通過してヴィレッジ白州方面へ下って行った。

頂上では私たちと男性2人組のみ。50分ほどの長めの昼食&撮影タイムをとり下山開始。多摩ナンバーの男性はやはり水晶ナギまで行かれたそうで、「帰りの中央道、混む前に帰りたいですね」とスタスタ下りて行った。下りのコースタイムは2:00、ふかふかの落ち葉の中に足を入れながら気持ちよく歩く。最後の方は足がガクガクしてきたがコースタイム通りに到着。天気にも恵まれ、とても快適に登ることが出来た。近くに日向山もあり、そちらの方がコースタイムも短く登りやすいのかもしれないが、マイナーという表現ではなく、確実に穴場の山だと思った。

<コースタイム>

8:05 ヴィレッジ白州・平久保登山口 スタート

9:50 水場

11:25 雨乞岳頂上(2,037m)

12:15 下山開始

14:15 ヴィレッジ白州・平久保登山口

(了)